

こども支援ルームここにこ
事業者向け 児童発達支援 自己評価表（令和5年度）



回収率 83%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	5			活動の内容の内容によって、2部屋に 分かれる等を行っている。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			利用児の人数や活動内容により、配 置を行っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化され た環境 になっているか。また、障害の特性 に 応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			来所時の準備など、流れが分りやす いように環境設定をしている。 活動の予定が分りやすいように文 字と写真を用いて、いつでも見れる 場所に設置をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっている。また、子ども達の活動に合わ せた空間となっている	5			使用毎の椅子や机の消毒、クラスの 終了時には床などの消毒清掃を行っ ている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画して いる	5				今後も振り返り時や会議の際にPDCA サイクルを活用し、業務改善に努め ていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対し て事業所の評価を実施するとともに、保護者 等の意向等を把握し、業務改善につなげてい る	4	1		保護者アンケートの結果や改善点に ついて、職員と共有している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行 うとともに、その結果による支援の質の評価 及び改善の内容を、事業所の会報やホーム ページ等で公開している	5			事業所自己評価・保護者アンケート の結果をホームページに公開してい る。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげている			5		第三者による外部評価は行なってい ない。必要に応じて業務改善に努め ていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3	2		外部研修の周知や参加、外部の方に 研修を依頼して実施している。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児 童発達支援計画を作成している	5			保護者からのニーズの確認を行い、 課題を検討しながら作成をしてい る。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	1	4			より良い支援へと繋げられるよう、 アセスメントシートの見直しを行っ ていく。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		必要時保護者からの相談に個別で対応を行っている。ご希望があれば通われている園の先生の見学の受け入れや園への訪問を行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1		支援開始時に個別支援計画の確認を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		主に3人の職員で行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			季節の関する活動を取り入れる等、興味を持って活動に取り組めるよう設定をしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			基本的には小集団活動を行っている。個別に対応が必要な場合は、1対1での対応も行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			支援開始前に活動内容等の確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			その日の様子や保護者様と話した内容を共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			毎回連絡帳を作成し、業務日誌には、お子様の特記事項や保護者の話を記載にしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			最低1回／半年行っている。	、
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		1	主に児童発達管理責任者が参加している。	
関係機関や保護者	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		主に相談支援員と必要時に連携をしている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケア児の利用は無し	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2		3	依頼があった場合は、園の先生に見学や、園への訪問を行っている。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2		3		今後、積極的に参加をしていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			担当の相談支援員へ相談をし、助言を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			5	幼稚園や保育園に通われている方が大半のため、現時点では行っていない。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		1	4		今後、参加を検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			連絡帳や送迎時に家庭での様子や活動等の様子を短時間だが共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1		5		支援への勉強会を取り入れていきたい
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に契約内容、重要事項説明書を基に説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、れに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			個別支援計画作成後に、保護者に説明を行い、署名をいただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			必要に応じて、適宜相談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		次年度は開催に向けて努力をしたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			相談の依頼があった場合や、場合は個別で相談対応をしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			アプリを使用し、活動予定表などを事前に発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			契約時に個人情報使用同意書に署名をいただいている。個人情報が載っている書類は、鍵付き書庫で管理をし、データーについては管理者のみが扱える体制にしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			お子さまに応じて分かりやすい伝え方を行っている。	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			ハロウィンの際には、地域のお店の方にも協力をいただいた。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		1	マニュアル等の作成は行っており、職員はいつでも確認が出来るようにしている。	今後、周知に努めていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		1	定期的実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			契約時に書面で確認を行っている。てんかん発作等の対応については、主治医からの指示書もとっている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		医師の指示書と薬を預かっている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハットがあった場合は、全スタッフが閲覧をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		虐待防止のマニュアルを作成している。常に支援は虐待防止等を意識して行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1		身体拘束を行わない方針での支援を行ってる。	